

## 鳴く虫巡回展について

### 【はじめに】

特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワークでは、日本直翅類学会の全面的なご協力を頂き、関西の博物館をめぐる鳴く虫巡回展を企画しました。「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」の発刊を機会に、より多くの人にさまざまな虫の声に耳を傾けていただければと思っています。

鳴く虫は多くの歌にも唄われるように、古来より人の耳を和ませる風雅な響きであったとともに、都市の変化や開発による環境の変化を鋭敏に反映してくれる「環境のインジケーター」でもあります。そして、多くの昆虫アマチュアの心を捉えた存在でもありました。「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」は関西を中心に活躍する、プロアマを越えた直翅類研究者たちの業績の結晶ともいえます。今回の巡回展では、こうした鳴く虫たちの姿を、さまざまな形で楽しく伝えていきたいと考えています。

この巡回展は橿原市昆虫館（奈良）と日本直翅類学会が監修した基本パックをもとに、大阪、兵庫、滋賀、奈良にある6博物館がそれぞれ工夫し、標本等を使って、バラエティ豊かに展開する「成長する巡回展」です。特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワークのもとで、「社会の中で自然史系博物館の機能を発揮する」という那須自然史基金の趣旨に添って各館学芸員の協力により実現されました。

### 【巡回各館の紹介】

#### 伊丹市昆虫館

名 称：鳴く虫巡回展 『鳴く虫を愉しむ道具』企画展

期 間：2008年9月3日（水）～9月11日（木）

会 場：伊丹市立工芸センター（伊丹駅前） 展示室B

概 要：秋の鳴く虫、コオロギ、キリギリス類は、日本や中国で古くから親しまれてきた昆虫です。野外で声を聴くだけでなく、飼育されて人々に愉しまれてきました。中国では、声を聴くのみならずコオロギを戦わせる闘蟋（とうしつ）も行われてき

ました。それらに用いられてきた日本・中国の各種の虫籠をはじめとする道具類を展示いたします。

本企画展は、関西の自然史系博物館を巡回するコオロギ・バッタ・キリギリス類の展覧会「鳴く虫巡回展」の最初の展示として、また、9月5日～9月11日の間に伊丹市立伊丹郷町館や伊丹市中心市街地を会場におこなわれる「鳴く虫と郷町」のイベントのひとつとして開催するものです。

主 催：伊丹市昆虫館

共 催：伊丹市立工芸センター

協 力：日本直翅類学会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、財団法人伊丹市文化振興財団、橿原市昆虫館

担 当：伊丹市昆虫館[坂本 昇] TEL 072-785-3582

会 場：伊丹市立工芸センター TEL：072-772-5557

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

開場時間：午前10時～午後6時（入館は5時30分、最終日は4時30分まで）

観覧料：無料

#### 伊丹市昆虫館 問合せ

〒664-0015 兵庫県伊丹市昆陽池3-1 昆陽池公園内 TEL072-785-3582

<http://www.itakon.com>

会場連絡先：伊丹市立工芸センター TEL：0727-72-5557

#### 大阪市立自然史博物館

名 称：特別陳列 「鳴く虫巡回展」

期 間：2008年10月4日(土)～11月3日(月・祝)

会 場：大阪市立自然史博物館・二階イベントスペース(旧第一収蔵庫)

概 要：バッタ・コオロギ・キリギリス類は、大型の昆虫が多く、我国では昔から「鳴く虫」として親しまれてきました。当館から誕生した日本直翅類学会の豊富な標本、鳴声、虫かごなどの民具を中心に展示します。収蔵している関連標本や鳴声録音を活用し、博物館と学会との関わりも展示する予定です。また、大阪自然史センターでは『鳴く虫』本を出版します。関連行事とともに楽しみください。

関連行事：やさしい自然観察会「バッタのオリンピック」(10/13)

友の会行事「コオロギ相撲」(10/19)

主 催：大阪市立自然史博物館

共 催：伊丹市昆虫館・橿原市昆虫館・きしわだ自然資料館・多賀町立博物館・兵庫県立人と自然の博物館

協 力：日本直翅類学会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、

担 当：大阪市立自然史博物館 [金沢至] TEL06-6697-6221

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

大阪市立自然史博物館 問合せ

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 TEL06-6697-6221

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp>

### きしわだ自然資料館

名 称：特別展 「バッタ・コオロギ・キリギリス ～南大阪の直翅類昆虫たち～」

期 間：平成20年11月26日（水）～平成21年2月11日（水・祝）

会 場：きしわだ自然資料館 1階多目的ホール 約100㎡

概 容：岸和田をはじめとした泉州地方には多種多様な自然環境が残され、そこにはまだまだ多くの動物たちが生息しています。草原や森林をおもな生息場所とするバッタ・コオロギ・キリギリスなどの直翅類昆虫もその一つですが、「鳴く虫」として鳴き声を鑑賞する以外に関心を寄せられることはあまりありません。そこで今年度の特別展では、これら直翅類昆虫の形態的、生態的な特徴を多方面から取り上げるとともに、大阪南部における直翅類の主要な生息環境を紹介し、それらの環境が現在直面している問題にもスポットを当てた展示を行います。なお本展示は、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワークを構成する博物館で巡回実施するものです。また、会期中に、関連イベントも企画しています。

主 催：岸和田市教育委員会郷土文化室 きしわだ自然資料館

協 力：伊丹市昆虫館、大阪府立大学生命環境科学研究科昆虫学研究グループ、貝塚市立自然遊学館、橿原市昆虫館、きしわだ自然友の会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、日本直翅類学会

担 当：きしわだ自然資料館 [学芸員 平田慎一郎] TEL 072-423-8100

監 修：岩崎 拓（貝塚市立自然遊学館）

休館日：毎週月曜日（祝日は開館）、11月30日、12月24日、12月29～1月5日、1月13日、1月31日（展示前臨時休館日：11月23～24日）

開場時間：午前10時～午後5時

観覧料：大人400円、中学生以下無料

きしわだ自然資料館 問合せ

〒596-0072 大阪府岸和田市堺町 6-5 TEL072-423-8100

<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/sosiki/k-nature/>

## 兵庫県立人と自然の博物館

名 称：『初夏の鳴く虫と巡回展』

期 間：2009年 6月6日(土)～8月30日(日)

会 場：兵庫県立人と自然の博物館

概 容：鳴く虫の多くは晩夏から秋に鳴く例が多いので「秋の虫」のイメージがありますが、初夏から鳴いている虫も結構いるのです。そこで当館では、あまり注目されてこなかった初夏の鳴く虫に焦点をあてて、6月から開催し、秋の虫が出揃う8月末で巡回展につなげて終了とします。鳴く虫研究会「きんひばり」の協力を得て、各月に1週間ずつ、生きた鳴く虫の展示を行なう予定です。また、参加型の楽しいイベントもいくつか考えています。坂口浩平コレクション等外国の鳴く虫の標本や国内の収蔵標本、および鳴く虫関連の写真パネルも活用します。

主 催：兵庫県立人と自然の博物館

協 力：日本直翅類学会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、  
橿原市昆虫館、鳴く虫研究会「きんひばり」

担 当：兵庫県立人と自然の博物館 [大谷 剛]

兵庫県立人と自然の博物館 問合せ

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目 TEL079-559-2003

<http://hitohaku.jp>

## 多賀町立博物館

名 称：「秋の鳴く虫展 ～バッタ・コオロギ・キリギリスの仲間たち～」

期 間：日時 2009年9月19日(土)～11月8日(日)

会 場：場所 多賀町立博物館・多賀の自然と文化の館

概 容：巡回展示物のみならず、イロイロな趣向を凝らした展開を図ります。夜の鳴く虫コーナーやバッタロデオも実施します。夜の観察会や「何でもバッタのモノ作り」クラフトなど、会期中に関連イベントを2回程度実施する予定です。館周辺には秋の鳴く虫が多く、秋には虫の音を聞く観察会や、ストローや棕櫚の葉で作るリアルなバッタ作り等のプログラムを活かして、普及教育行事を展開します。

主 催：多賀町立博物館

協 力：日本直翅類学会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、  
橿原市昆虫館

担 当：多賀町立博物館 [金尾]

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日、祝日の翌日

## 多賀町立博物館 問合せ

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2 TEL0749-48-2077  
FAX0749-48-8055 <http://www.tagatown.jp/~taga-mus/>

## 橿原市昆虫館

名 称：鳴く虫巡回展ファイナル 『バッタ・コオロギ・キリギリス展』

期 間：2009年11月17日（火）～12月27日（日）（巡回展終了）

会 場：橿原市昆虫館 二階展示室 約200㎡

概 容：橿原市昆虫館開館 20周年記念展示の一環（最終企画展）としての開催です。  
巡回展示物と収蔵標本等を中心に展示展開を図ります。期間中に関連イベントを  
2～3回実施します。

主 催：橿原市昆虫館

協 力：日本直翅類学会、特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワーク、  
伊丹市昆虫館、大阪自然史博物館、きしわだ自然資料館、多賀町立博物館、兵庫県  
立人と自然の博物館

担 当：橿原市昆虫館 [資料学芸係 日比伸子]

休館日：月曜日

開場時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）

観覧料：大人400円・高校・大学生300円・4歳～中学生100円

## 橿原市昆虫館 問合せ

〒634-0024 奈良県橿原市南山町 624 番地 香具山公園内  
TEL0744-24-7246 Fax0744-24-9128  
<http://www.city.kashihara.nara.jp/insect/>

## 参考資料

### 【日本直翅類学会について】

大阪市立自然史博物館におられた故・日浦 勇学芸員のもとに集結した関西のアマチュアの鳴く虫研究者により1978（昭和53）年に「直翅類研究グループ」の名称で設立され、後に現在の名称に改められました。バッタ・コオロギ・キリギリスをはじめ、カマキリやナナフシ、ハサミムシなども研究の対象になっています。そして、2006年に積年の課題であった「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」を発行しました。

現在の会員は約160名。連絡誌「ぼったりぎす」を年2回、会誌「Tettigonia」年1回の発行と年1回の総会、年1回程度の夏季合宿が主な活動です。

今回の巡回展では、資料の貸し出しや提供、監修を務めています。

### 【特定非営利活動法人・西日本自然史系博物館ネットワークについて】

文部科学省の科学系博物館活用ネットワーク推進事業の一環として結成された環瀬戸内自然史系博物館ネットワークが母体となって2004年に設立されたNPO法人です。

博物館連携の推進、標本データベースなど地域の自然の情報の提供や研究会、博物館事業や学芸員の資質の向上のため学芸員の交流・調査、自然史科学の普及や博物館活用促進のためのシンポジウム・セミナーの開催、出版活動、展示の企画など、広範囲な活動を行っています。

今回の巡回展は、当法人内の那須基金(法人立上げに尽力された前大阪市立自然史博物館那須孝悌館長の意志を継いで設立された博物館活動支援の基金)によって支援されています。

事務局は大阪市立自然史博物館内にあり、現在87名の個人会員、36組織(博物館、研究機関等)からなっています。(http://www.naturemuseum.net/blog/)